

# 骨粗しょう症 知って防ごう

## 県内医師らNPO設立

高齢者の生活に大きな影響を与える骨折やその原因となる骨粗しょう症を防ごうと、県内の医師らがNPO法人「兵庫骨を守る会」(神戸市中央区京町)を立ち上げた。兵庫県は40歳以上の女性の大腿骨骨折率が全国ワーストで、同会理事長の鷲見正敏・神戸労災病院院長(67)は「骨粗しょう症は無自覚だが、骨折や治療など大変なことが多い。予防意識が広がるよう取り組みたい」と力を込める。

(篠原拓真)

## 高齢者の健康守りたい

骨粗しょう症は、骨の密度が減少してもろくなる病気。つまずきやくしゃみなど、わずかな衝撃で骨折してしまう。女性に多いとされ、高齢者の場合は骨折から寝たきり状態となるケースも多く、特に注意が必要とされる。

40歳以上の女性の大腿骨骨折について調べた日本骨粗鬆症財団の標準化骨折発生率(2015年)では、全国平均を100とした場合、兵庫は120と都道府県で最も多かった。一方で、県内の骨粗しょう症検診率(15年)は3.3%と全国平均の5.2%を下回っており、同会は「問題意識が低いのが現状」とする。

同会は啓発のための市民講座や骨粗しょう症の無料検診、冊子の配布を企画。検診は会員が非会員かで受けられる検査内容に違いはあるが、会員でなくても異常が見つかる、同会と提携する医療機関を紹介する予定だ。

現在は会員は40人ほどといい、鷲見理事長は「健康に生活ができる期間(健康寿命)を延ばすためにも多くの人が入会してもらいたい。(乳がんの早期発見・治療を呼び掛ける)ピンクリボンのような形で活動が広がれば」と話す。

会費は年千円。市民講座や検診の最優先通知、協力する医療機関での骨密度検診など特典がある。入会希望者は、所定の用紙に名前や住所などを記入して郵送などで申し込む。同会 ☎070・42882・58829



「兵庫骨を守る会」への入会を呼び掛ける鷲見正敏理事長  
 〓神戸市中央区籠池通4、神戸労災病院